

# 地方創生先行型事業評価シート

## 目次

1	自伐型林業推進事業	1
2	水産業活性化推進事業	3
3	新規創業者支援事業	5
4	地場産業販路拡大促進事業	7
5	商店街活性化支援事業	9
6	戦争遺跡保存活用推進事業	11
7	海外観光客誘致事業	13
8	観光客誘致促進事業	15
9	子育て世帯定住促進事業	17
10	妊産婦応援事業	19
11	子育て情報サービス提供事業（子育て応援メール配信事業）	21
12	子育て情報サービス提供事業（子育て応援アプリ事業）	23
13	伝統的建造物群保存地区観光拠点基本構想策定事業	25
14	婚活推進事業	27
15	国際姉妹都市交流事業	29

平成28年8月

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	農林水産整備課			
事務事業名	自伐型林業推進事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
自伐型林業推進事業費	01	02	01	06	18	02

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

本市の林野面積は、市の面積の約3分の2に及ぶが山林が荒廃し、本来備えるべき機能を失いつつある。そのため、自伐型林業に取り組む就業者を養成し、森林の適正管理を行いながら、木材の質の向上、森林の多目的活用を図り、収益を高めることにより就業者の増加につなげる。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>自伐型林業の専門家を招致しての技術講習会の開催：講師2人、年3回、1.5日間/回</li> <li>地元の専門家による技術講習会の開催：講師1人、年4回、0.5日間/回</li> <li>自伐型林業の先進地である高知県佐川町において、作業道や間伐の状況等を調査：林業就業希望者6人、職員2人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有林における実技研修会</li> <li>H27年度研修地において、前年度の実績を生かし、研修生だけの実技講習会を4回行い、その他に2回講師を招き、検査、実技指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備計画を立て、作業道作成に対し、1m当たり3000円補助を行い、事業実施者を援助する</li> <li>事業実施にあたり、必要な機械のリース料の助成を行う。</li> <li>自伐型林業実施者に対する講師アドバイス補助</li> <li>自伐型林業研修会 年2回</li> </ul>	H29年度の事業計画

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
自伐型林業に取り組もうとしている者	実技研修会を実施、今後森林整備計画を立てた方に、作業道作成補助を行う。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
自伐型林業の技術を習得させ、森林の適正管理、木材の質の向上、森林の多目的活用を図ることにより林業収益を高め、引いては林業従事者の増加を図る。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	1,109			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	2	876			
	事業費計 (A)	1,111	876			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.30 [0.00]	0.30 [0.00]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	2,108	2,108			
	合計 (A+B)	3,219	2,984			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費 (平均) をもとに算定します。(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 自伐型林業の就業候補者数	人	6	6	-	-	-	-
	② 自伐型林業新規就業者数	人	6	0	1	1	1	1
	③ 自伐型林業の新規研修受講者数	人	6	15	4	15	4	4
	④ 自伐型林業による施業面積	ha			5	30	10	10

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	森林整備計画を策定することで国の補助事業の導入が可能となり、施業面積の拡大につながる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	現在就業候補者の育成、事業の推進ができない。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	取組の初期段階であり、現段階ではコスト削減できるものはない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業がない。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	県内の他市では、実施市町村はない。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在の研修受講者の就業に向けて現行のまま継続する。成果指標を見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続し、平成29年度以降新規就業者の安定経営につながる施策の実施を検討するとともに第2期の就業者育成に向けて初級研修を実施する。森林整備計画を策定し国の補助事業を利用し施業面積の拡大を図る。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり改善して継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	農林水産整備課			
事務事業名	水産業活性化推進事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
水産業活性化推進事業費	01	02	01	06	18	03

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

本市の水産業は、組合員数及び登録漁船数は年々減少しているが、水揚げ量は横ばいで、水揚げ額は微減である。そのため、船舶等の購入、漁船エンジンのオーバーホール費用及びのり製造機械の購入等に助成することにより、組合員の減少に歯止めをかけるとともに、新規漁業就業者の確保を図る。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象経費：漁船等の購入、漁船エンジンのオーバーホール</li> <li>事業主体：市内の漁協組合員、新規就業者</li> <li>負担割合 1/2 上限 100万円</li> <li>実績 22人</li> </ul>	漁業者の水産振興を図る 漁船等購入を補助する のり製造機械の購入、船舶免許取得に補助する 補助率1/2、補助金上限100万円	H28事業の継続	H29事業の継続

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
漁協組合員	漁船の購入、漁船エンジンのオーバーホールにかかる経費を助成する。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
組合員数の減少に歯止めを掛けるとともに、新規就業者の拡大を図る。	

### 5 コストの推移

			27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	特定財源					
		国庫支出金	9,855				
		県支出金					
		起債					
	その他 ( )						
	一般財源	0	10,000				
事業費計 (A)			9,855	10,000			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.04 [0.00]	0.04 [0.00]	[ ]	[ ]	[ ]	
	職員人件費 (B)	281	281				
	合計 (A+B)	10,136	10,281				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費 (平均) をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 漁業従事者数の維持	人	132	126	-	-	-	-
	② 漁業従事者の減少数	人		6	2	2	2	2
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	<input checked="" type="checkbox"/> <b>ない</b> 理由 新規就業者の育成により成果目標の向上が図られることから、漁協と協議しながら施策の検討を行いたい。 <input type="checkbox"/> <b>ある</b>
	廃止・休止した場合の影響はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> <b>ある</b> 理由 5年間の事業継続を承諾した上で補助事業に取り組んでもらっており、なくなることで組合員の減少が進むと考えられる。 <input type="checkbox"/> <b>ない</b>
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	<input checked="" type="checkbox"/> <b>ない</b> 理由 <input type="checkbox"/> <b>ある</b> 現状維持で今後の推移を見守る
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	<input checked="" type="checkbox"/> <b>ない</b> 理由 <input type="checkbox"/> <b>ある</b> この事業以外ないため
	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	<input type="checkbox"/> <b>はい</b> 理由 <input checked="" type="checkbox"/> <b>いいえ</b> 本事業には該当しない。
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
その他	南さつま市…魚群探知機その他の漁獲効率の向上に資する機材等の新規購入（事業費20万円以上）に係る経費を補助している。補助金額は、補助対象経費（その経費が100万円を超える場合にあっては100万円）の2分の1とする。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> <b>拡大</b> <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	H28年度からのり製造機械の購入費、船舶免許取得費も対象に加え、利用希望のある組合員に助成する。成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> <b>改善して継続</b> <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	漁業従事者の減少に効果的な施策について漁協と協議し改善して継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> <b>改善して継続</b> <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり改善して継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	新規創業者支援事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
新規創業者支援事業費	01	07	01	02	20	04

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

商店街の空き店舗等を活用して新規創業者の事業者に対し、開業時の改装費用等を助成することにより経済的負担を軽減し、開業しやすい環境を整える。これにより、本市における仕事の創出が図られる。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<p>【空き店舗家賃補助事業】 空き店舗に新規に創業しようとする者に対し家賃を助成。1年目家賃の1/2(限度額月5万円)、2年目1/4(限度額月2.5万円)、区域区分なし。</p> <p>【新規創業支援事業】 新規に創業する者が行う空き店舗の住居部分と店舗部分を区分するための工事費の一部、及び店舗・事務所の改装、整備等に係る費用の一部を助成。10万円以上の工事費に対し、工事費の30%、上限60万円</p> <p>○空き店舗解消数 5件 ○新規創業者数 4件</p>	<p>同左</p> <p>○空き店舗解消数 4件 ○新規創業者数 4件</p>	<p>同左</p> <p>○空き店舗解消数 4件 ○新規創業者数 4件</p>	<p>同左</p> <p>○空き店舗解消数 5件 ○新規創業者数 5件</p>

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
空き店舗を活用して新規に創業しようとする者	空き店舗の家賃を助成するほか、空き店舗の居住部分と店舗部分を仕切るための工事費用に助成する。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
創業時の経済的負担を軽減することにより開業しやすい環境を整える。	

### 5 コストの推移

		27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	国庫支出金	1,535			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
		一般財源	0	7,275		
	事業費計 (A)	1,535	7,275			
費用	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.05 [ ]	0.05 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	351	351			
	合計 (A+B)	1,886	7,626			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費(平均)をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 新規創業者数	件	3	4	4	4	5	5
	② 空き店舗の解消数	件	3	5	4	4	5	5
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	創業支援ネットワーク構築との相乗効果を見込める。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	市内商店街等の空き店舗解消が進まない。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	H27から始まったばかりであるので現状では考えられない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	地場産業起業支援事業との統合はあり得る。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	初期投資への支援のため妥当と考える。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	薩摩川内市、始良市、いちき串木野市	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業化して間もないため、制度活用を推進する。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	地場産業販路拡大促進事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
地場産業販路拡大促進事業費	01	07	01	02	20	02

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

人口減少により先細りが懸念される国内市場及び目まぐるしい経済成長を続けるアジアを中心とした海外市場において、本市の農産物等の地場産品の販路開拓・需要拡大を図る。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<p>【需要拡大支援事業】 国内外の市場動向に詳しい専門家に商品需要や魅力ある商品開発のアドバイスを委託する。</p> <p>【販路拡大支援】 地場産品を国内外の展示会・見本市・商談会等に出展する市内事業者に対し、出展料、展示装飾費、翻訳・通訳費、出展物輸送費、旅費等を助成（補助率1/2、上限50万円、4法人）</p>	<p>【需要拡大支援事業】 国内外の市場動向に詳しい専門家に商品需要や魅力ある商品開発のアドバイスを委託する。</p> <p>【販路拡大支援】 地場産品を国内外の展示会・見本市・商談会等に出展する市内事業者に対し、出展料、展示装飾費、翻訳・通訳費、出展物輸送費、旅費等を助成（補助率1/2、上限50万円、6法人）</p>	同左	同左

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
市内事業者	専門家によるマーケティングや商品開発に関するアドバイスを提供するほか、地場産品を国内外の展示会・見本市・商談会等に出展する場合に助成する。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
地場産品の販路開拓・需要拡大を図る。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	3,691			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	59	5,247			
	事業費計 (A)	3,750	5,247			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.20 [ ]	0.20 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	1,406	1,406			
	合計 (A+B)	5,156	6,653			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。



# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 新製品開発等に取組中の案件	件	10	4	-	-	-	-
	② 出展者数	件	4	6	6	6	6	6
	③ 新規製品の開発数	件	-	4	4	4	4	4
	④ 新規商談成立件数	件	-	9	6	6	6	6

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	販路拡大支援事業の上限枠をなくし、積極的な事業者を支援することも検討したい。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	地元中小企業者の振興に影響がある。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	現段階では考えられない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	県レベルで類似事業はあるが、要件等のハードルが高い。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	販路拡大戦略の初期段階による支援のため妥当と考える。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	鹿児島市（販路拡大事業）	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業開始後間もないため、制度活用を推進する。成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	商店街活性化支援事業	事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名		会計	款	項	目	細目 細々目
わいわい賑わい商店街づくり事業費		01	07	01	02	20 03

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

地域の特色を生かしていない本市の商店街において、商品開発、販売指導、店舗経営、商店街としての景観整備など商店街活性化のノウハウを商店主が学び、実践することにより観光資源を生かした活気ある商店街に変革させる。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会、ワークショップ、勉強会を通じて商店経営・商品開発・景観整備のアドバイスを行うなど商店街活性化のノウハウを持つ専門家に委託する。</li> <li>勉強会の一環として、先進地の視察を行い、視察の成果を勉強会でフィードバックし、地元商店街の活性化につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会、ワークショップ、勉強会を通じて商店経営・商品開発・景観整備のアドバイスを行うなど商店街活性化のノウハウを持つ専門家に委託する。</li> <li>勉強会の一環として、先進地の視察を行い、視察の成果を勉強会でフィードバックし、地元商店街の活性化につなげる。</li> </ul>	<p>【景観統一改装補助事業】 対象経費10万円以上の工事に対し、工事費の1/2、上限50万円補助</p> <p>500千円×5件</p>	<p>【景観統一改装補助事業】 対象経費10万円以上の工事に対し、工事費の1/2、上限50万円補助</p> <p>500千円×5件</p>

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
商店経営者	専門家による講演会、ワークショップ及び勉強会を通じて商店経営・商品開発・景観整備のアドバイスを提供するほか、先進地視察を行う。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
地元商店街の活気を取り戻すための人材として育成する。 本町商店街通りの景観統一を目指す。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	1,200			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	250	3,404			
	事業費計 (A)	1,450	3,404			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.30 [ ]	0.30 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	2,108	2,108			
合計 (A+B)		3,558	5,512			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費 (平均) をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 店舗の景観整備件数	件	3	0	0	—	—	—
	② 新商品開発に取組中の案件	件	10	4	—	—	—	—
	③ 個店の整備件数	件	—	—	—	5	5	5
	④ 新商品の開発数	件	—	4	4	4	4	4

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	取組後間もないため、現状では考えられない。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	商店街区域の賑わい創出に影響がある。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	取組後間もないため、現状では考えられない。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	予定している景観対策の補助事業は、公益性の高い事業であるため1/2程度の負担は妥当と考える。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	なし	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	商店街活性化に向けた研修会等により、観光資源を活かした商店街づくりにむけて実施する。商店街の協議内容に合わせ成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成29年度以降の取組については、個店の魅力アップにつながる助成事業として検討を進める。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価とおり改善して継続する。（31年度事業費に誤りがあったため修正）

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	戦争遺跡保存活用推進事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
戦争遺跡保存活用基本構想策定事業費	01	02	01	06	18	15

### 2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

本市の主な観光資源であるツルと武家屋敷に次ぐ観光資源として、戦争遺跡を位置付け、保存・活用するための構想を策定するとともに、戦争遺跡である掩体壕の長寿命化を図り、長期的に良好な状態で公開する。更に、観光客のための平和学習プログラムを作成し、それを基にガイドが戦争遺跡を案内することで観光地としての新たな魅力を加え誘客を図る。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争遺跡保存活用基本構想策定委託</li> <li>鹿児島大学との連携による資料の保存・デジタル化、戦争体験談の映像記録の保存・証言の活字化、平和学習プログラム骨子の作成及び実践試行</li> <li>戦争体験者からの聴き取り調査委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の魅力ある観光地づくり事業による掩体壕周辺整備</li> <li>鹿児島大学との連携による資料の保存・デジタル化、戦争体験談の映像記録の保存・戦争体験者からの聴き取り調査</li> <li>体験談集の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の魅力ある観光地づくり事業による掩体壕周辺整備</li> <li>鹿児島大学との連携による資料の保存・デジタル化、戦争体験談の映像記録の保存・戦争体験者からの聴き取り調査</li> <li>平和学習の手引き（小学校版・中学校版・成人用）作成</li> <li>資料等の整理公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の魅力ある観光地づくり事業による特攻碑公園周辺整備</li> <li>戦争体験談の映像記録の保存・戦争体験者からの聴き取り調査</li> <li>資料等の整理公開</li> </ul>

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
平和学習を目的とした修学旅行生 戦争遺跡等に興味のある一般観光客	戦争遺跡を新たな観光資源として位置付け、特攻碑公園前の桜通りや点在する戦争遺跡を一体的に活用するための基本構想を策定する。戦争を経験された方々の体験談の聴き取り調査結果や市内に点在する戦争遺跡を用いた平和学習プログラムを作成するとともに、老朽化した掩体壕の長寿命化対策を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	

### 5 コストの推移

			27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	国庫支出金	17,200				
		県支出金					
		起債					
		その他（ ）					
	一般財源		433	1,559			
	事業費計（A）		17,633	1,559			
人件費	職員従事人数（うち臨時職員数）	0.20〔 〕	0.50〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	
	職員人件費（B）	1,406	3,514				
	合計（A+B）	19,039	5,073				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 平和学習プログラム利用者数	人	500	606	650	700	800	1,200
	②							
	③							
	④							

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 掩体壕周辺整備及び特攻碑公園駐車場完成を見据えた旅行社へのPR
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	出水でできる平和学習の内容を具体的に示した手引きを作成し、県内外の小中学校に売り込み、集客を図る。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 新たな観光資源の創出として県事業の採択を受け、掩体壕、特攻碑周辺の整備が進行中の事業であるため、途中での廃止はあり得ない。
	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 現在、成果指標である利用者数の増につなげるために必要な基礎的事業（聞き取り、資料収集等）を展開しており、削減できるものはない。
効率性	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 類似する事業はない。
	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由 本事業には該当しない。
その他	<input type="checkbox"/> いいえ	
	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください） 宇佐市平和ミュージアム 平成26年度に「宇佐市平和ミュージアム基本構想・基本計画」が策定され、平成31年度末までに建設される予定。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	県で実施する掩体壕周辺整備及び特攻碑公園駐車場整備を見据えて基本構想で示した整備パターン①～③を参考に進めていく。今後、戦争体験者が減少することは確実なことであり、体験談等の収集は、最後の時期にあると認識している。そこで、引き続き戦争体験等の収集を行い、より多くの証言を得て平和学習プログラムの品質向上に努めていく。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。 (市内の平和学習プログラム利用者も利用しやすい助成制度を考えられないか。県事業による駐車場整備を急いでほしい。)

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	海外観光客誘致事業		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
海外観光客誘致事業費	01	02	01	06	18	13

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

近年、鹿児島県を訪れる海外からの観光客が増加しつつあるが、これらの観光客を本市に誘導することにより、本市経済の活性化を図る。具体的には海外からの団体旅行者誘致のために現地の旅行社にセールスに回るとともに、増加傾向のF I T (個人旅行者) 対策として多言語でのHP情報発信と実際訪れた旅行者からのSNSによる情報発信を目的としたWiFi設置を行い、誘客につなげる。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外への誘客セールス旅費：香港、広州、ソウル、釜山、台北、高雄等</li> <li>出水民泊パンフ作製：英語・繁体字版 3千部</li> <li>観光情報専門サイト構築委託：日本語・英語・繁体字・簡体字・ハングル語版・タイ語</li> <li>観光地W i - F i 設置委託：ツル観察センター1箇所、武家屋敷（屋内2箇所、屋外1箇所）、出水駅観光特産品館「飛来里」1箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外への誘客セールス旅費：香港、広州、台北、高雄等</li> <li>観光情報専門サイトPR：日本語・英語・繁体字・簡体字・ハングル語・タイ語</li> <li>観光地W i - F i 維持管理：ツル観察センター1箇所、武家屋敷（屋内2箇所、屋外1箇所）、出水駅観光特産品館「飛来里」1箇所</li> </ul>	同左	同左

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
海外観光客	海外に誘客セールスするほか、外国語版のパンフや観光情報サイトを活用しながらPRを行う。また、市内の主要観光施設にW i - F i 等、来市しやすい環境を整える。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
鹿児島県を訪れる海外からの観光客を本市に誘導し、観光産業の振興を図る。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	11,632			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	393	2,606			
	事業費計 (A)	12,025	2,606			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.30 [ ]	0.30 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	2,108	2,108			
	合計 (A+B)	14,133	4,714			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費 (平均) をもとに算定します。(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① ツル観察センターの外国人入館者数	人	400	1,008	1,200	1,400	1,600	2,000
	② 公開武家屋敷の外国人入館者数	人	1,500	1,683	1,800	2,000	2,500	3,000
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	農家民泊など他地域にない素材等を活用
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	増加傾向にある外国人観光客の減少に繋がる	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	国の補助事業等の活用。そのためには日本版DMOなどの取組が必要
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	鹿児島市、霧島市、指宿市、南九州市が自治体として海外セールスを行っている。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続し、外国人観光客の増加に努める

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	観光客誘致促進事業	事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
観光客誘致促進事業費	01	02	01	06	18	14

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

本市をコースに組み込んだ旅行商品の造成に補助することにより観光客の誘致を図る。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
・旅行商品造成支援助成： 旅行パック利用実績に応じ 定額助成 10万円～1万円/パック  39件 1,820千円 内訳 日帰り31件（海外2件） 宿泊 8件（海外7件）	・旅行商品造成支援助成： 旅行パック利用実績に応じ 定額助成 10万円～1万円/パック	・旅行商品造成支援助成： 旅行パック利用実績に応じ 定額助成 10万円～1万円/パック	・旅行商品造成支援助成： 旅行パック利用実績に応じ 定額助成 10万円～1万円/パック

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
観光客	旅行業者が本市を行程に含む旅行パックを設け、これにより旅行者を誘致した場合に助成を行う。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
本市に誘致することにより、観光産業の振興を図る。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	2,380			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	148	2,044			
	事業費計 (A)	2,528	2,044			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.20 [ ]	0.20 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	1,406	1,406			
	合計 (A+B)	3,934	3,450			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。



# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① ツル観察センターの入館者数	人	35,000	32,526	40,000	40,000	40,000	40,000
	② 公開武家屋敷の入館者数	人	40,000	34,360	35,000	35,000	38,000	40,000
	③ 市内宿泊者数	人	92,000	101,439	93,000	100,000	105,000	110,000
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	海外からの観光客を増やす
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	出水の観光資源を知ってもらうための呼び水であることから廃止した場合影響がある
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	薩摩川内市、奄美市が実施している。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	シティセールス課			
事務事業名	子育て世帯定住促進事業	事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名		会計	款	項	目	細目 細々目
子育て世帯定住促進事業費		01	02	01	06	18 08

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

本市に転入して子育てを行う世帯で、民間賃貸住宅を借用する世帯の家賃を助成することにより、家計の負担軽減を図るとともに定住促進を図る。また、対象を民間賃貸住宅に絞ることで、空き家対策につながり、引いては地域経済の活性化につながる。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年4月1日以降の転入者のうち、中学生以下の子がいる世帯及び転入後、子が生まれた世帯を対象とし、民間賃貸住宅（社宅を除く。）の家賃を助成する。</li> <li>家賃の実質負担額の1/2 上限2万円</li> <li>補助期間 3年</li> <li>個人に対する給付（年度中に対象となる子供を未就学児から中学生へ、再転入者の除外期間短縮の見直しを実施）</li> </ul>	H27年度事業の継続	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
中学生以下の子供がいる世帯及び転入後第1子が生まれた世帯	民間賃貸住宅（社宅を除く。）の家賃を助成する。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
子育て世帯の本市への移住を促進する。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	1,096			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	0	3,000			
	事業費計 (A)	1,096	3,000			
費人	職員従事人数(うち臨時職員数)	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	職員人件費 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	1,096	3,000			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 本市に転入した子育て世帯数	世帯	55	11	10	10	10	10
	②							
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	補助金額の引き上げ及び補助期間の延長で向上するものと思われる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	制度を知ってから出水市への移住を決定される方もおり、定住促進の妨げになる。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	なし
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	民間賃貸住宅を対象とした家賃助成は、本事業のみである。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	大崎町定住促進賃貸住宅家賃補助金（転入・新婚世帯が民間賃貸住宅に入居する場合、3万円を超える家賃に対し1万円を助成） 西之表市定住促進住宅補助金（指定地域内の民間賃貸住宅に転入、転居された世帯に対し、家賃の実質負担額の1/2上限2万円を3年間助成）	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成27年度に当該制度を新設したところであり、定住促進を図るため、現行のまま継続する。（拡大済）現状に即し成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。（成果を伸ばす方策は検討できないか。→住宅購入や新築に対する助成も実施しており、それらを希望する方も多いことを説明、了解された）

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	健康増進課				
事務事業名	妊産婦応援事業		事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
妊産婦応援事業費		01	02	01	06	18	10

### 2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

妊産婦又は子育て世帯に保育・育児等支援サービス及び保健サービスを利用できる応援券を交付することにより、精神的・身体的・経済的負担軽減を図り、子供を産み育てやすい環境の整備を図るとともに、妊産婦の歯科健診により、早産や低体重児出産のリスクをなくし母体や胎児の健康を維持する。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<p>・子育て応援券の交付：妊産婦又は1歳未満の乳児を養育する保護者に2万円分の応援券を交付。子供の一時預かり、送迎、産前産後の家事・育児支援、沐浴、乳房ケア、育児相談等のサービスを受けられる。（年度中に対象児年齢を2歳未満に拡大し、さらに助産師の行う骨盤ケア等のサービスにも利用範囲を広げる見直しを実施）</p> <p>・市内の歯科医院に委託して、無料で妊産婦の歯科健診を行う、個人に対する給付</p>	前年度事業継続	前年度事業継続	前年度事業継続

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
妊産婦・乳児を持つ保護者	<p>保育・育児等支援サービス（子供の一時預かり、産前産後の家事・育児支援等）や保健サービス（沐浴、乳房ケア等）の提供を受けられる応援券を交付し経済的な負担軽減を図る。</p> <p>また、妊娠期間中の歯科検診に係る経費を助成する。</p>
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<p>悩みや不安を一人で抱え込まずに、気軽に相談をすることにより安心して子供を産み育てることができるようにする。</p>	

### 5 コストの推移

			27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	特定財源					
		国庫支出金	2,866				
		県支出金					
		起債					
	一般財源	631	2,033				
	事業費計（A）	3,497	2,033				
人件費	職員従事人数（うち臨時職員数）	0.10〔 〕	0.10〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	
	職員人件費（B）	703	703				
	合計（A+B）	4,200	2,736				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 応援券利用により妊娠中及び産後に安心して過ごせたと答えた者の割合	%	50以上	70	75	80	81	82
	② 妊娠中からむし歯予防に関心を持ち、食事や歯磨き等の生活行動に気をつけた者の割合	%	60以上	29	35	40	45	60
	③ 応援券の利用率	%		29	40	60	80	80
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	保健師・助産師が対象者の方と接する機会には、家庭の状況に合わせて個別に相談対応する等、応援券の御案内や利用の勧めをしていく。今後も、ポスター等必要な方に行き届く周知に努める。併せて、歯科無料券の周知に努め産科からも受診勧奨してもらう。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	晩婚、少子化といった社会背景のもと、子育てと介護のダブルケア問題も生じてきている。核家族化が進み支援者が少ない状況で、少子化がますます進行する。虐待にも繋がる。また、早期の歯科受診がないことで、自身の口腔管理の意識が低下し低体重児出産や幼児のむし歯有病者の増加が予測される。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	応援券の減額分を他のサービスで補うことは難しい。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	統合可能な類似事業が存在しない。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	さつま町が本市を参考に、平成28年度から産後ケア応援券交付事業を開始。対象は、平成28年4月1日以降出産の産婦（出産後1年以内の女子）。さつま町内に住所を有する平成28年4月1日以降出生の1歳未満の乳児を養育する者。利用期間は出生後からその乳児が1歳の誕生日を迎える前日まで。庁内に利用施設がないため、県内助産所と契約。妊婦歯科無料券交付は、阿久根市、長島町、阿久根市、薩摩川内市実施	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	対象者に事業の意図を理解してもらえるように周知の工夫に努める。妊婦歯科受診票の使用について母子手帳交付時に周知の徹底を図る。（拡大済）

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続し、応援券の利用率をKPIに加え、ニーズの分析を行う。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。（2万円を使い切らないという声も聞いたので、補助額が適正かどうかの検討も行ってほしい。）

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	こども課			
事務事業名	子育て情報サービス提供事業（子育て応援メール配信事業）		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
子育て情報サービス提供事業費	01	02	01	06	18	009

### 2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

悩みを抱えて孤立しがちな妊産婦や乳児期の子育て世帯に、メールマガジンを配信し、妊娠期のアドバイス、出産後の育児方法、ホームケア、保健、事故予防の方法等を紹介し、安心して子育てができる環境を整える。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
子育てメールマガジンの配信事業者に委託して、妊娠期、乳児期の基本情報と年齢期に合わせた出水市の保健イベント情報を配信。  委託先 NPO法人きずなメールプロジェクト	前年度と同様	前年度と同様	前年度と同様

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
妊産婦及びその夫、3歳未満児の父母	妊娠期における胎児の成長の様子や出産後における乳幼児の育児に関するアドバイスなどの情報をメールマガジンとして配信する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
妊娠、出産後の不安解消を図ることにより、安心して子供を産み育てることができるようにする。	

### 5 コストの推移

		27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	国庫支出金	1,000			
		県支出金				
		起債				
		その他（ ）				
	一般財源	250	713			
	事業費計（A）	1,250	713			
人件費	職員従事人数（うち臨時職員数）	0.25〔 〕	0.10〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕
	職員人件費（B）	1,757	703			
	合計（A+B）	3,007	1,416			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① メールマガジン登録者数	人	200	104	150	200	250	300
	②							
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	PRの工夫により興味のある方を増やすことで成果指標の目標を向上することができる。母子手帳交付時、出生届提出時にできるだけその場で登録していただけるよう働きかけを行う。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	産前産後のメールマガジンを利用している方へのサービス低下及び子育て支援に関する情報発信手段の再構築が必要と考える。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	配信業務に係る委託料のみである。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	紙媒体であるリーフレット等も作成しているが、並行して本市の子育て支援に対する施策の情報発信のツールとして活用することが効果的であると考えます。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	メール配信事業は、県内では鹿屋市が導入済みで、志布志市が導入を検討している。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	登録者数を増やすための工夫が必要であるが、事業内容としては、現行のまま継続する。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。 配信されるメールの内容について市職員等ヒアリングが可能な登録者の声を聞き、必要な見直しを検討する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	こども課			
事務事業名	子育て情報サービス提供事業（子育て応援アプリ事業）		事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目
子育て情報サービス提供事業費	01	02	01	06	18	009

### 2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

子育て世帯の父母等が必要な情報（子育てや予防接種等のイベント情報、支援施設の情報、支援制度の手続方法）をいつでも検索できるスマートフォン用のアプリケーションソフトを構築・運用し、安心して子育てができる環境を整える。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
子育てに関する情報等が検索できるスマートフォン用アプリケーションソフトを導入。 委託先 (株)スマートバリュー	子育てに関する情報等が検索できるスマートフォン用アプリケーションソフトを運用。 委託先 (株)スマートバリュー	前年度と同様	前年度と同様

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
子育て世代	スマートフォン等で子育て情報、施設マップ、子育て支援ナビ、教育・保育施設、施設空き情報、イベント情報等を検索できるアプリケーションソフトを提供する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
子育て世代の不安解消を図ることにより、安心して子供を産み育てることができるようにする。	

### 5 コストの推移

			27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	特定財源					
		国庫支出金	3,500				
		県支出金					
		起債					
	一般財源	250	778				
	事業費計 (A)	3,750	778				
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.20 [ ]	0.05 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	職員人件費 (B)	1,406	351				
	合計 (A+B)	5,156	1,129				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費（平均）をもとに算定します。  
（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。



# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① アプリのダウンロード数	件	150	512	700	900	1,100	1,300
	②							
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	PRの工夫及びアプリの内容を充実させることにより興味のある方を増やすことで成果指標の目標を向上することができる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	子育て支援に関する情報発信手段の再構築が必要と考える。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	アプリケーションの保守に係る委託料のみである。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	紙媒体であるリーフレット等も作成しているが、並行して本市の子育て支援に対する施策の情報発信のツールとして活用することが効果的であると考えます。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	スマートフォン用アプリケーションについては県内にはない。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	登録者数を増やすための工夫が必要であるが、事業内容としては、現行のまま継続する。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。（メールやアプリと併せて人と人が直接触れ合う支援も行ってほしい。）

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	教育部	課等名	生涯学習課				
事務事業名	伝統的建造物群保存地区観光拠点基本構想策定事業		事業期間	平成 27 年度	～	平成 27 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
伝統的建造物群保存地区観光拠点基本構想策定事業費		01	02	01	06	18	17

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

平成28年度に建設を予定している「(仮称)ふもと資料館」を中心とした伝統的建造物群保存地区の観光資源を一体的に活用しようとするものである。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
伝統的建造物群保存地区観光拠点基本構想策定委託  県「魅力ある観光地づくり事業」への要望			

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
ふもと資料館 (仮称) 建設予定地周辺の麓地区	伝統的建造物群保存地区観光拠点基本構想を策定する。(更に構想に基づいて(仮称)ふもと資料館の周辺整備を進める。)
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
武家屋敷等の歴史資産とネットワークさせた観光・歴史学習の誘客を図るため、本市の魅力を高める事業の採択を受ける。	

### 5 コストの推移

			27年度実績	28年度計画	29年度計画	30年度計画	31年度計画
コスト	事業費	特定財源					
		国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
	一般財源	1,620	0				
	事業費計 (A)	1,620					
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.20 [0.00]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	職員人件費 (B)	1,406	0				
	合計 (A+B)	3,026	0				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費(平均)をもとに算定します。(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 公開武家屋敷の入館者数	人	40,000	34,360	35,000	35,000	38,000	40,000
	② 平成28年度「魅力ある観光地づくり事業」の採択	件	1	1				
	③							
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 ふもと資料館（仮称）の建設に併せて、建設予定地周辺の麓地区に係る観光拠点構想を策定し、当該事業を実施しようとするものである。県の「魅力ある観光地づくり事業」採択は、最もコストのかからない事業である。
	<input type="checkbox"/> ある	理由 ふもと資料館（仮称）の建設は、平成29年度オープンを目指して事業を進めていることから、構想に係る事業を廃止・休止した場合は、麓地区の観光等に係る環境整備が遅れることになり、資料館を含めた麓地区の魅力が損なわれると考えられる。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 ふもと資料館（仮称）の建設は、平成29年度オープンを目指して事業を進めていることから、構想に係る事業を廃止・休止した場合は、麓地区の観光等に係る環境整備が遅れることになり、資料館を含めた麓地区の魅力が損なわれると考えられる。
	<input type="checkbox"/> ない	理由 ふもと資料館（仮称）の建設は、平成29年度オープンを目指して事業を進めていることから、構想に係る事業を廃止・休止した場合は、麓地区の観光等に係る環境整備が遅れることになり、資料館を含めた麓地区の魅力が損なわれると考えられる。
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 基本構想が県の事業として採択された場合は、県が事業主体となる。
	<input type="checkbox"/> ある	理由 基本構想が県の事業として採択された場合は、県が事業主体となる。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
その他	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 県の魅力ある観光地づくり事業のような、県が事業主体となる事業は他にない。
	<input type="checkbox"/> ある	理由 県の魅力ある観光地づくり事業のような、県が事業主体となる事業は他にない。
	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由 本事業には該当しない。
<input type="checkbox"/> いいえ	理由 本事業には該当しない。	
他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）		

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	策定した基本構想をもとに、平成27年度中に、県へ「平成28年度魅力ある観光地づくり事業」の採択要望をシティセールス課で行った。 （予定どおり完了）

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業については予定どおり完了とする。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり予定どおり完了とする。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画課				
事務事業名	婚活推進事業		事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
婚活推進事業費		01	02	01	06	18	007

### 2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化対策として、結婚を望みながら出会いの機会が少ない独身者に、出会いの場・交流の場を提供することを目的とする。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
婚活推進事業支援補助金 補助率2/3 上限50万円 (年度中に補助率1/2から 2/3への見直しを実施)	婚活推進事業支援補助金 補助率2/3 上限50万円 対象事業を婚活イベント のみでなく、男女の交流イ ベントに拡大	同左	同左

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
結婚を望みながら出会いの機会が少ない独身者	イベント開催に対する助成を行うことで、出会いの場・交流の場を提供する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
結婚を望みながらも出会いの機会が少ない独身の男女に多様な出会いの機会を提供することで、より若い時期での婚姻数増加、出生数の増加につなげる。	

### 5 コストの推移

			27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	特定財源					
		国庫支出金	805	0			
		県支出金					
		起債					
	その他（ ）						
	一般財源	0	2,500				
	事業費計（A）	805	2,500				
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.10 [ ]	0.10 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	職員人件費（B）	703	703				
	合計（A+B）	1,508	3,203				

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人件費（平均）をもとに算定します。  
（職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。）

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 婚活イベント件数	件	3	3	5	5	5	5
	② 婚活イベントによる成婚カップル数	組	15	1	—			
	③ 婚活イベントによる成立カップル数	組	—	14	10	10	10	10
	④							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 本事業は、出会いの場の創出を図る事業等を主体的に取り組む団体に対し、その必要経費の一部を助成することで、取組の促進に資するものであることから、補助対象経費の緩和又は補助率を上げることで、婚活支援に取り組む団体は増えると思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
有効性	廃止・休止した場合の影響はありますか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 補助がなくなることで、手出しをしてまで婚活支援の事業に取り組む団体が減ることが想定される。
	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 出会いの機会が少ない独身の男女に、出会いの場等を提供する団体の取組に対し、行政として可能な限りの支援を行うものであり、そのことから現在の補助金額が適正であると考えます。
	<input type="checkbox"/> ある	
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 県内の結婚支援イベントの実施状況は、単独市町村での実施がほとんどである。また、近隣の市町では、長島町と伊佐市で実施しているが、町主催や町から財政援助を受け実施していることから、統合することは難しいと思われる。
	<input type="checkbox"/> ある	
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	県内15市町村で実行委員会形式による婚活イベント実施	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	男女の出会い・交流の場の提供機会を増やすため、婚活イベントのみでなく、交流イベントへも補助対象を拡大して実施する。成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。

# 地方創生先行型事業評価シート

## 実施計画

### 1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画課				
事務事業名	国際姉妹都市交流事業		事業期間	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
根拠法令・条例、関連計画等	出水市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
国際姉妹都市交流事業費		01	02	01	06	18	012

### 2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

現在、大韓民国全羅南道順天市と姉妹都市盟約を締結し、文化・産業等の交流を進めているが、新たな海外の都市との交流を促進するため実施するものである。

### 3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
台湾交流候補地等訪問経費 2,487 台湾訪問団歓迎経費 635	台湾国内都市との姉妹都市盟約を締結するための相手都市を選定する。	台湾国内都市との交流を行う。	昨年度事業計画を継続 姉妹都市盟約の締結

### 4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	台湾の都市	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)	友好都市盟約を結ぶ。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	交流を促進することにより、お互いの都市の文化・産業の活性化を図る。		

### 5 コストの推移

		27年度 実績	28年度 計画	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画
コスト	事業費	国庫支出金	563			
		県支出金				
		起債				
		その他 ( )				
	一般財源	28	452			
	事業費計 (A)	591	452			
人件費	職員従事人数(うち臨時職員数)	0.30 [ ]	0.30 [ ]	[ ]	[ ]	[ ]
	職員人件費 (B)	2,108	2,108			
	合計 (A+B)	2,699	2,560			

※ コストは千円単位で記入してください。

※ 職員人件費は決算統計の人員費 (平均) をもとに算定します。  
(職員人件費は、職員従事人数を入力すると自動計算されます。)

※ 職員従事人数は、職員が従事する割合を勘案し、小数点2桁まで記入してください。

# 事務事業評価（事後評価）

## 1 指標の推移

区分	指標名	単位	27年度 目標	27年度 実績	28年度 目標	29年度 目標	30年度 目標	31年度 目標
成果指標	① 海外における販路開拓件数	件	2	0	—	—	—	—
	② ツル観察センターの外国人入館者数	人	400	1,008	—	—	—	—
	③ 公開武家屋敷の外国人入館者数	人	1,500	1,683	—	—	—	—
	④ 姉妹都市盟約件数	件	—	0			1	

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

## 2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	姉妹都市盟約に向けた都市選定のアプローチの仕方など検討する必要がある。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由
	<input type="checkbox"/> ない	外国人訪問客の増加施策・国際交流施策に影響がある。
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	経費の内訳が旅費や特産品のPRに必要な経費のため。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	類似事業はない。
市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）		
<input type="checkbox"/> はい	理由	
<input type="checkbox"/> いいえ	本事業には該当しない。	
その他	他の市町村では実施している事業ですか（県内の他市の状況等を具体的に記入してください）	
	他市町村での取り組み事例はない。	

## 3 平成28年度事業の方向性

方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	海外都市との交流により本市の産業・文化の活性化につなげるための事業として、継続して取り組む必要がある。成果指標の見直しを行う。

## 4 今後の方向性、改善案等（内部評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続する。

## 5 今後の方向性、改善案等（推進会議評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	内部評価のとおり現行のまま継続する。